



看護師役と患者役に分かれてトレーニング

「針を刺す時は緊張した。実際患者さんを前にしたら、もっと緊張するだろうし失敗するのが怖いなと思った」「針先に集中しすぎて、患者さんへの声かけを忘れがちになってし

この注射トレーニングを終えて、患者への薬剤投与や穿刺が可能となります。現場では必ず先輩看護師が付き添い、安全に実施できるか判断されてから新人看護師は独り立ちとなり頑張っていきます。
(耳原総合病院 副看護部長 本多 比佐代)

5月8日・9日の2日間、新人看護師の血管確保・注射実践研修を行いました。目的は血管確保、静脈注射の基本を知り技術を身につけ、安全に実施できるようにすることです。新人看護師2人にインストラクター(先輩看護師)が1人つき、デモンストレーション

を行なった後に、新人それぞれが看護師役と患者役となり、デモ機を使用して実践しました。デモ機を用いての血管確保ですが、緊張で手が震えたり、針を持つ手がぎこちなかったりと悪戦苦闘しながら、みんな集中し真剣に取り組んでいました。終了後にインストラクターと一緒にお互いの感想交流を行ない、患者役の体験も振り返りました。

「患者役をして、説明や声かけの重要性も改めて実感した」など、それぞれに感じたことを共有し、振り返ることができました。

看護師新人研修

基本を知り技術を身につけ、安全に実施できるように

デモ機を用いて注射トレーニング



採血スピッツ

技術職種25人が参加

新人向け

オリエンテーション開催



「患者さんのことを第一に考えて働いていきたい」「思いやりの気持ちを忘れず

「技術職です、技術を磨くためにも、小さな目標を見つけて一歩ずつ成長してほしい」「あなたたちは、私たち技師長と一緒に働きたいと選

ばれた人です」などを伝えました。グループワークでは、なぜその職業を選んだのか、また仕事で感じた喜びを言葉にしてもらうことで、意識を高める機会になりました。

5月23日・24日の2日間、技術職種の新人に向けた新入職員オリエンテーションを行いました。今年入職の職員と、昨年中途採用となった職員あわせて25人の参加となりました。(薬剤師2人、放射線技師3人、臨床検査技師2人、理学療法士9人、作業療法士5人、言語聴覚士2人、臨床工学士2人)

「技術職です、技術を磨くためにも、小さな目標を見つけて一歩ずつ成長してほしい」「あなたたちは、私たち技師長と一緒に働きたいと選

ばれた人です」などを伝えました。グループワークでは、なぜその職業を選んだのか、また仕事で感じた喜びを言葉にしてもらうことで、意識を高める機会になりました。



「と100点満点の答えが聞けたことと、職場見学を行い、「他職場含め職員が働いている姿がかつこよく、自分も一員として頑張りたい」という意見も聞けました。また、「弱い立場にある人に寄り添った病院であることを改めて実感した」「ホスピタリティを見てこういう所で働きたいと思いを述べました」という感想もあり、誇らし

く感じました。(耳原総合病院 副技術部長 梶馬 禎幸)

「研修医育成」に皆さまの声を

右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。(耳原総合病院研修委員会)



みみはらグループ

第24回 医療介護安全大会

大会テーマ「心理的安全性を根付かせる」

2024年 7月13日(土) 14:00~16:00

開催 耳原総合病院 みみはらホールA + Web

講師 やまぐち(なかがみ)えつこ 山口(中上)悦子 先生

記念講演 「本当は怖い 心理的安全性」 ~お互いを尊重する組織文化へ~

ウェビナ ID:861 1796 4493 パスコード:853582